

## ■■■暗黒の金曜日（簡易ルール）■■■

### ■ゲームボード

- ✓ 中央：【株価テーブル】 マスの色ごとにレベルが分かれています。
- ✓ 左：【銀価格テーブル】 蛇行しているトラック
- ✓ 右 - 一番上：【株購入テーブル】
- ✓ 右 - 二番目：【銀購入テーブル】
- ✓ 右 - 三～五番目：【株売却テーブル1】～【株売却テーブル3】
- ✓ 下：【銀購入数テーブル】

### ■ゲーム準備

- ✓ 5色の株価マーカーを【株価テーブル】の“7”の位置に置く
- ✓ 銀マーカーの1つを【銀値段テーブル】に、もう1つを【銀購入数テーブル】に置く
- ✓ 1～3までの各【株売却テーブル】に各色のカバン駒2コマずつを置き、黒いカバン駒は各テーブルに示されている数だけ置く
- ✓ 【株売却テーブル】は現在の状況に従い1, 2, 3と順番に使用されていき、その後は2番テーブルが繰り返し使用される。
- ✓ 残りの9つの黒カバンは“WALL STREET JOURNAL”のストックに置く
- ✓ 補助金カードを1, 2, 5の順に並べて置く
- ✓ 5レベルのカードを一番上に“START”がみえるようにカードを置き山札とする
- ✓ 【市場】に各色のカバンを4個ずつ置く
- ✓ 10個+プレイ人数の数だけ各色のカバンを袋に入れる
- ✓ 残りのカバンはゲームから除外する
- ✓ 各プレイヤーは袋からランダムに5つのカバンを取り、秘密裏に所持する
- ✓ スタートプレイヤーは袋からランダムにカバンを20個とり市場に加える
- ✓ スタートプレイヤーを除き、時計回りにスペシャルアクションカードを取る
- ✓ インタレスト（利息）マーカーを袋に入れる

例：4人プレイヤーの場合

- ✓ 【市場】に各色4つのカバンを置く
- ✓ 各色14個のカバンを袋の中に入れ、残りのカバンはゲームから除外する
- ✓ 時計まわりに袋から5つずつカバンを取り、秘密裏に持つ
- ✓ スタートプレイヤーは20個のカバンを袋から取り、市場に置く

## ■レベルカードについて

レベルカードは3つの要素を持っています。:

- 上段：補助金上限数 所持できる補助金（借金）の上限数です
- 中断：購入上限数 1回のアクションで購入できる株と銀の上限数です
- 下段：価格調整数 価格調整時に袋から引くカバンの数です

## ■ゲームプレイ

手番でプレイヤーは以下の4つのアクションから1つを選んで実行します。

- 1) 株の購入
- 2) 株の売却
- 3) 銀の購入
- 4) パス

また2つの特殊アクションがあり、これは手番内にいつでも実行できます

- 1) 補助金（借金）
- 2) スペシャルアクション（ゲーム中1回のみ）

以上のアクションを時計回りに繰り返します。

アクション後に【株売却テーブル】のカバンが5つになったら“価格調整”が発生します（後述）。この際に黒カバンは数に数えません。

### 【1】株購入

【市場】から市場価格で株を購入します。ゲーム開始時には株を1つしか買えません。株価が上がり、新しいレベルカードがプレイされるとこれらが変化します。市場価格を支払い、対応する色のカバンを【市場】から受け取り、スクリーンの後ろに確保します。

同時に追加でもう1つ【市場】から同じ色のカバンを取り、【株購入テーブル】に置きます。もし該当する色のカバンが【市場】にない場合は他の好きな色を選んで構いません。

違う色の複数の株を購入した場合でも【株購入テーブル】に置く追加のカバンは1つだけです。その場合、購入した株の色の中から1つを選び、追加のカバンを【株購入テーブル】に置きます。

## 【2】株売却

自分の所持している株を市場価格で売却できます。自分の手持ちのカバンを取り、【市場】に戻します。銀行から売却したお金をもらいます。すると直ちに株価は下がり、現在の株価マーカーを1つ左に動かします。

次に現在の【株売却テーブル】から該当する色のカバンを取り市場に置きます。プレイヤーが現在売買することのできる上限がレベルカードに示されています。

いくつか異なる色の株を同時に売却した場合は、価格を下げる株はどれか1つで構いません。プレイヤーが選びます。同時に【株売却テーブル】から取り出すカバンも任意の1つを選びます。必ずしも価格を下げた株の色と同じである必要はありません。【株売却テーブル】に該当する色が1つもない場合は、他の任意の色のカバンを取ります。

\$4の市場価格をつけた株はそれ以上株価を下げません。

## 【3】銀購入

現在の市場価格で銀を購入します。レベルカードに記された上限の範囲内で銀を購入できます。

購入した銀の数だけ【銀購入数テーブル】上の銀マーカーを動かします。また【市場】にある任意のカバンを1つ選び、【銀購入テーブル】に置きます。

銀が5つになったら金塊1つに交換しなければなりません。

## 【4】パス

【市場】から任意で1つのカバンを取り【銀購入テーブル】に置きます。

### ●特殊アクション

追加的にいつでも行えます。

自分のターン中にレベルカードに記載されている上限数を限度として補助金を受け取ることができます。またゲーム中に1回だけスペシャルアクションを行うことができます。

●注釈：

- ✓ 市場にある、ある色の最後のカバンを取った時、株価マーカーを右に1つ動かし、価格が上昇します。
- ✓ 同じ色のカバンが1つのテーブルに3つ置かれたら、この色の株価は右に1つ動きます。3つ以上のカバンが揃っても追加的な効果はありません。

■価格調整

【銀購入テーブル】【株購入テーブル】【株売却テーブル1～3】の各テーブルの色つきのカバン駒（黒色を除く）の数が5つになったら価格調整が発生します。

◆利息の支払い

その前に、各プレイヤーは補助金の利息を支払わなければなりません。利息は補助金の合計額の5%です。

もし利息を支払うだけの十分なお金を持っていない場合、未払いを示すために補助金カード1枚を裏返します。プレイヤーは最も近い次のターンに未払いの利息を支払わなくてはなりません。追加の補助金や株を売却するなどして金を工面し利息金を支払ってください。レベル上限数の関係でこれ以上補助金を受け取れない場合、株売却で利息分のお金を捻出してください。利息支払いが終わった際には裏返した補助金カードを表に戻します。

◆袋からカバンを引きます

利息支払いが終わった後、価格調整を起こすきっかけを作ったプレイヤーがレベルカードに記載されている数分、カバンを袋からランダムに引きます。

（袋の中にはインタレスト（利息）マーカーがあります。それはサイズが違うので他のカバンと区別がつきます。これは利息の支払いの手順を忘れないようにするためのマーカーであり、ゲーム上それ以上の意味はありません）

◆株価マーカーの移動

価格調整は【株売却テーブル】の色順（黄色、青色、赤色、緑色、オレンジ色）の順で行うことをお勧めします。

プレイヤーは基本的に袋から引いたカバン数に従って株価マーカーを動かしますが、袋から引かれた黒カバンの数によって調整が加わります。プレイヤーはそれぞれの色つきカバンの数から黒カバンの数を引き算します（ただし引き算するのは黒カバンが袋から2以上引かれた時だけです。黒カバンが1つだけの場合は色つきカバンから引き算せず黒カバンは無視します）。そしてその計算結果で出た数を、ボード右にある【WALL STREET JOURNAL】のテーブルに適用します。

- カバン1の場合：株価マーカーを1つ上に動かす
- カバン4の場合：株価マーカーを2つ上、1つ右に動かす
- カバン0の場合：株価マーカーを1つ左に動かす

黒カバンを丁度1つだけ引いた場合、【銀価格テーブル】を1動かし、黒カバンは袋に戻します。そしてプレイヤーは価格調整します。

黒カバンを2つ以上引いた場合、各色から引き算し、その結果マイナスになった場合は株価が下がります。黒カバンの数だけ銀の価格を上昇させ、黒カバンはストックに戻します。

株価マーカーが右端に張り付きこれ以上右に動けない時、更に右に価格移動する状況が起きた場合は、右の代わりに上に移動させます。同様に左端に張り付き、左に価格移動する状況になった場合は下に移動させます。

全ての価格調整終了後、袋から引いたカバンは【市場】に置きます。また価格調整を引き起こしたテーブルに残っている全ての色付きカバンはそのテーブルから取り除き、すべてを袋に入れます。価格調整を引き起こしたのが【株売却テーブル】の場合は、そのテーブルにある黒カバンも含めて袋に入れます。そして次のテーブルを使用します。【株売却テーブル3】を使いきった場合は、【株売却テーブル2】を再びカバンで満たして使用します。以後、テーブルを使いきった場合は繰り返し【株売却テーブル2】を使い続けます。

価格調整後、【市場】からある色のカバンが無くなった場合は、その色の株価が1つ上に移動します。

#### ◆銀価格調整

銀価格テーブル調整：前回の価格調整時から購入された銀の総数（【銀購入数テーブル】）を3で割った数（切り捨て）分だけ、【銀価格テーブル】上の銀マー

カーを1つ上に動かします。その後【銀購入数テーブル】の銀マーカーを0にリセットします。

#### ◆レベル移動チェック

レベル変動：株価最高値をチェックします。その株価がどのレベルにいるか調べます。レベルとは、株価テーブルは濃い緑と薄い緑に色分けされており、その区分によってレベルが設定されています。株価テーブルの列の一番左端を見るとレベルが表記されています。ボード上のレベルと、現在のレベルカードのレベルと比較します。カードのレベルよりも株価最高値のレベルが高い場合に、新しくレベル更新となり、ゲームボードに示されているレベル数と同じレベルのレベルカードを配置します。レベルはスキップ可能です。レベルの変更は「補助金上限」「購入数上限」「価格調整時の袋から引くカバン数」が変化します。各、レベル変更した際に、“WALL STREET JOURNAL”のストックから黒カバンを1つ取り、袋に加えます。

レベルは下がることはありません。

#### ■ゲーム終了

【銀価格テーブル】上の銀マーカーが100に達したら直ちにゲーム終了します。100を超える数値は無視され、銀マーカーは100にとどまります。各プレイヤーは自分の株を売却し、補助金を補助金上限まで入手し、そのお金で可能な限り銀を購入します。そして銀が5つに達したら金塊に交換します。

最も多くの金塊を所持しているプレイヤーが勝利します。もし同点の場合はその中で最も多く銀を持っているプレイヤーが勝利します。それでもまだ同点の場合はその中で最もお金を持っているプレイヤーが勝利します。

#### ■スペシャルアクション

スタートプレイヤーを除きゲーム開始時にプレイヤーはスペシャルアクションカードを入手します。これはゲーム中に1回だけ使用可能です。

#### 【プレイヤー2：パス】

ターン中いつでも、追加的に任意のカバン1つを【銀購入テーブル】に置くことが出来ます。

【プレイヤー 3 : パス / 売却 + 1】

上記パスに加え、「株売却」アクション時にレベルカードで示された売却上限数に + 1 超えた数売却可能。

【プレイヤー 4 : パス / 売却 + 1 / 銀購入 + 1】

上記に加え、「銀購入」アクション時にレベルカードで示された購入上限数に + 1 超えた数購入可能。

【プレイヤー 5 : パス / 売却 + 1 / 銀購入 + 1 / 購入 + 1】

上記に加え、「株購入」アクション時にレベルカードで示された購入上限数に + 1 超えた数購入可能。

## ■ 2プレイヤーゲーム

ゲーム開始時、市場に各色 2 個の株を置き、ランダムで 20 のカバンを市場に加えます。両プレイヤーは 1 つのカバンを【市場】から【株購入テーブル】に移動します。

各プレイヤーは 2 枚のスペシャルアクションカードを取ります。

「売却 + 1」と「購入 + 1」です。

## ■ 5プレイヤーゲーム

【株購入テーブル】【銀購入テーブル】のすべてを使用します。【株購入テーブル】【銀購入テーブル】のカバンが残り 6 になった時に、または【株売却テーブル】の色つきカバンが丁度 4 になった時に価格調整が始まります。

## ■ 株価が変動するタイミングまとめ

- 株売却アクション実行後、売却株のうちの 1 つの株価を左に 1 つ
- 市場からその色の最後の株を取った時、この株価を右に 1 つ
- 株購入、銀購入テーブルに同じ色のカバンを 3 つ置いたら、この株価を右に 1 つ
- 袋から引いた各色のカバン数（2 つ以上の黒カバンを減算する）で、各色の価格調整する
- 市場に株が無くなった時、その色の株価は上に 1 つ

#### ■ 銀の価格が変動するまとめ

- 袋から黒カバンを引いた数だけ
- 銀購入数テーブルで3つにつき1つ上がる（上げた後リセットされる）